

直し等を行いました。又、病院医療機能評価に伴いクリテカルパスを取り入れることが出来るように、眼科の白内障の手術を委員会の中で、内容を煮詰めてみました。他にも病棟内の身近な細かい事を議題にあげて話し合いを行い、詰所会議に案を提起していきました。

1) 看護研究委員会

看護研究委員会は、この何年間看護過程を通しての研究でしたが、今年は消化器内科では、きつても切り離すことの出来ない絶食患者さまの、口腔ケアについての研究を行いました。患者さまのニーズに合わせた含嗽水を用いて含嗽をしていただき、爽快感を味わう事と、絶食から食事が開始になった時においしく食事を召し上がって頂ける事、又ターミナル患者さまの口臭を最小限にするという事にも、つながったと思います。

2) 追悼委員会

看護婦独自で行うようになってから今回は2回目ですが、12月末に行っているため、実際にどのような形式で行ったのかは確認できていません。

委員会は3委員会のみであり、その他に接遇委員会や事故防止対策委員会等、今後取り入れて行くことが必要と考えられます。

*勉強会について

今年は病棟内4グループに分け勉強会グループを作りました。実際取り組んだ内容としては、

※検査に関するグループ

※糖尿病に関するグループ

※眼科疾患に関するグループ

※ターミナルケアに関するグループ

検査に関しては6月と12月に谷医長が、バックアップしてくださって講演会形式の勉強会が行われました。眼科疾患に関しては、白内障のクリテカルパスを取り入れられるように、進められました。糖尿病とターミナルケアに関しては、異動のため確認できていません。その他、医療機能評価に関する勉強会も行いました。

*教育研修

勤務異動と退職に伴い、4階東病棟には臨床指導者が欠員になりました。そのため、8月末より10月始めの6週間臨床指導者研修に1名参加させて頂きました。研修の成果が発揮され、意欲的に指導にあたっています。今後も年間1名ずつでも、参加させて頂くことを期待します。

この1年を振り返る

4階西病棟婦長 佐々木 律 子

平成11年目標を次のように掲げ新たな1年がスタートしました。

1. 言葉づかい、対応、身だしなみに気をつけよう。
2. 良い人間関係をつくり、働きやすい職場にしよう。
3. 自ら受けたいケアを提供しよう。

4. 行ったケアを記録に反映させよう。

5. 自己啓発に努めよう。

実行可能であること、タイムリーであることを年頭に目標をたてました。各委員は病棟目標にそって、より具体的な活動計画をたて行動にうつして来しました。

結果として、病院機能評価に先駆けて接遇・記録の見直しに取り組む形になりました。スタッフの努力と変わろうとする姿勢に感謝するとともに微力ながら後押し出来ればと思う次第です。

また、業務改善に快く協力頂いた先生方にお礼申し上げます。

(各委員の構成と活動)

教 育 委 員	<p>☆教育担当リーダー 阿部 さよ子</p> <p>☆接遇担当リーダー 佐野 雅美</p>	<p>森田 静江 岩永 明美 西浦寿美恵 七条美恵子 佐藤久美子</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・接遇ビデオ鑑賞 ・ロールプレイングによる接遇研修 ・接遇標語の書き出し (月間・年間) ・記録の見直し 1 経時記録から看護計画に沿った記録へ 2 看護計画の書式変更(縦) 3 体温表の変更 <ul style="list-style-type: none"> ・表裏とも1月分 ・転記廃止のためバイタル以外の項目削除 4 カードデックスの活用 <ul style="list-style-type: none"> ・看護計画表 ・看護記録2号紙 ・カードデックス表 3表1セットでカードデックスに収容 	<ul style="list-style-type: none"> ・対象 全員 3回分け ・対象 全員 2回分け (実際にあった失敗例を使用) ・ ・問題が看護行動によりどうなったか意識して書くようになった。 ・医師の全面的協力で検査の記載をやめた。 (ケアの記載重視) ・看護計画表と看護記録2号を並べて入れることにより計画と記録が連動するようになった。
業 務 委 員	<p>☆リーダー 奥原 悦子</p> <p>★サブリーダー 中村こづえ</p> <p>安全対策委員 佐々木則子</p>	<p>葛西 美和 下浦 竹美 佐々木繁美 早川美由紀 岡 久美子</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・安全対策 <ol style="list-style-type: none"> 1 月日標を標語にして書き出す 2 安全対策の再確認 ・申し送りの場所検討 ・入院のアナムネーゼ聴取場所検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・標語を意識し守ったかを毎月病棟会議で確認し評価した。 ・注射・内服といった項目別に実際にどのように安全が図られるべきか検討し毎月病棟会議で報告した。 ・詰所のスペースが少ないため日勤から準夜への申し送り時にはテーブル周辺は内服薬分包などでざわついており気持ちの集中ができないう。 (未だ場所の確保は出来ていない。アナムネーゼの場所もあり)
研 究 発 表 委 員 会	<p>☆リーダー 今田 純子</p> <p>★サブリーダー 市山まどか</p>	<p>本木 洋子 高橋 奈美 遠山 由祈 山下 千鶴 高橋 亜紀 木南美由紀</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全国自治体病院学会参加 平成10年看護研究を発表 (同誌掲載) ・平成11年看護研究 	<ul style="list-style-type: none"> ・研究委員は平成10年、11と構成メンバーを殆ど替えずにきた。 学会発表支度・段取りと平行して平成11年度の研究に取り組んだ。 (集合回数 29回) 研究で得た結果は業務にいかされている。